

No. 569
2018年
12月

OR学会だより

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会
〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F
電話 (03)3851-6100 Fax (03)3851-6055
http://www.orsj.or.jp/

2019～2020年度役員選挙日程

OR学会における2019～2020年度役員（理事、監事）選挙は、2019年2月に名誉会員、正会員による郵送投票の予定です。ただし、改選数と候補者数が同数の場合、無投票になることがあります。

● 2019～2020年度 役員候補者ご推薦のお願い

役員規程に従って2019～2020年度の役員を選出を行います。つきましては、候補者のご推薦をお願いいたします。

- ・推薦者は、名誉会員または正会員5名以上とし、ご本人の同意を得たうえでご推薦ください。
- ・会務の分担ごとの選挙のため、下記推薦届の□に✓を入れてください。
- ・推薦届締切：2018年12月15日（土）
- ・推薦届送り先：OR学会事務局 〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F

TEL: 03-3851-6100, FAX: 03-3851-6055

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会
役員選挙管理委員会

..... 切 り 取 り 線
2018年 月 日

役員候補者推薦届

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会選挙管理委員会殿

2019～2020年度日本オペレーションズ・リサーチ学会の役員

- | | | | |
|------------------------------------|-------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 副会長（2名） | <input type="checkbox"/> 庶務理事 | <input type="checkbox"/> 国際理事 | <input type="checkbox"/> 研究普及理事（研究） |
| <input type="checkbox"/> 編集理事（機関誌） | <input type="checkbox"/> 支部理事 | <input type="checkbox"/> 無任所理事（支部所属） | <input type="checkbox"/> 監事 |

..... 氏を推薦いたします。

推薦代表者： _____ ⑩（所属： _____）

_____ ⑩ _____ ⑩

_____ ⑩ _____ ⑩

候補者略歴（100字程度）

上記の推薦に同意します。候補者 _____ ⑩（所属： _____）

● 日本OR学会各賞の候補ご推薦のお願い

本学会では、研究賞、研究賞奨励賞、事例研究賞、論文賞、学生論文賞を設定し、それぞれの分野で顕著な成果・業績を挙げられた個人や企業を表彰しております。つきましては、今年度も受賞候補者の積極的なご推薦を募ります。

過去の受賞者一覧は学会HPに掲載しています。

推薦提出書類

研究賞、研究賞奨励賞、事例研究賞：各規程推薦フォーム

<http://www.orsj.or.jp/whatisor/award7.html>

* 論文賞の推薦はありません。

推薦締切日

1. 研究賞、研究賞奨励賞、事例研究賞：2019年1月31日
2. 学生論文賞：2019年3月31日

推薦書送付先：OR学会事務局宛

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

詳細は<http://www.orsj.or.jp/whatisor/award7.html>をご覧ください。

〔研究賞〕

昭和43年（1968年）に創設された大西記念文献賞、およびそれを継承した文献賞を受け継ぎ、2011年度から設けられた本学会で最も歴史のある賞です。次の条件を満たす個人に贈られます。1. 本学会員であること。2. 独創性と将来性に富み、ORの発展に寄与する研究業績を挙げていること。授賞対象とする研究業績は過去5年以内のものとし、毎年1名程度を表彰する予定です。（副賞金50万円／1名）

〔研究賞奨励賞〕

若手研究者個人を対象とする賞です。上の研究賞の条件に加えて被推薦者の年齢に関して次の条件があります。被推薦者は、原則として応募締め切り時に満35歳以下であること。ただし、OR研究歴が短い方は、この年齢制限を超えていても構いません。授賞対象とする研究業績は過去3年以内のものとし、毎年4名程度を表彰する予定です。（副賞金20万円／1名）

〔事例研究賞〕

ORの優れた事例研究に対して贈られます。毎年3件程度を表彰する予定です。個人の場合は本学会員、グループの場合は本学会員を含むグループ、企業の場合は賛助会員企業が対象です。

〔論文賞〕

2010年度より設けられた新しい賞です。過去1年間に本学会論文誌に掲載された論文のうち、特に優れたもの1編に贈られます。授賞論文の著者すべて（非会員が含まれる場合も全員）を表彰します。なお、論文賞の推薦は募りません。（副賞金30万円／1件）

〔学生論文賞〕

学生によるORに関する優れた研究に対して贈られるものです。対象は、来春提出される学部の卒業論文、または大学院の修士論文とします。毎年5編程度を表彰する予定です。学生・指導教員がともに本学会員であることが必要です。詳しい募集要項は、OR誌2月号に掲載します。

● 2019年春季シンポジウム

日 程：2019年3月13日(水)

場 所：千葉工業大学 津田沼キャンパス

実行委員長：井上明也（千葉工業大学）

● 2019年春季研究発表会

日 程：2019年3月14日(木)～15日(金)

場 所：千葉工業大学 津田沼キャンパス

実行委員長：井上明也（千葉工業大学）

● 研究部会・グループ開催案内

〔不確実性環境下の意思決定モデリング〕

部会 URL：<http://www.oit.ac.jp/or/>

・第20回

日 時：2018年12月8日(土) 14:00～17:00

（開場13:30より）

場 所：サムティフェイム新大阪4階4F-G

大阪府大阪市淀川区西中島6-5-3

<http://fame.hey.ne.jp/>

テーマと講師：

- (1) 「座席位置選択モデルの近似法とその比較」

小笠原 悠（首都大学東京）

歌舞伎のような座席が列状に並んだ施設で、予約に対する座席位置の選択肢を制御して最大期待収益を目指す座席位置選択モデルを紹介する。更に、レベニューマネジメントの近似法であるChoice-based Deterministic Linear Problemが本モデルの近似法として有効であることを示す。

- (2) 「高次元平均分散モデルのパレートフロンティア作成厳密アプローチ」

仲川勇二（関西大学、発表者）、Chanaka Edirisinghe（Rensselaer Polytechnic Institute、共同研究者）

変数が多くデータが少ない回帰は、高次元回帰と呼ばれます。この回帰は「次元の呪い」という難題を含んでいました。この難題は実用的に解決できました。今回は、平均分散モデルでも同じ「次元の呪い」の現象が起こること、またその現象は厳密な意味で解決可能であることを報告し、平均分散のパレートフロンティアを紹介します。

懇親会：

場所：居酒屋魚人 西中島店

大阪府大阪市淀川区西中島3-13-11

<http://r.gnavi.co.jp/kacy201/>

開始時刻：研究会終了後、17:30の予定

費用：6,000円程度

懇親会参加をご希望の方は、11月24日(土)までに幹事までご連絡ください。

問合せ先：幹事 中西真悟 (大阪工業大学)

E-mail: nakanisi.oit@gmail.com

【待ち行列】

・第279回

部会 URL：<http://www.orsj.or.jp/queue/>

日時：2018年12月15日(土) 14:00~17:00

場所：東京工業大学大岡山キャンパス西8号館(W) 809号室

テーマと講師：

- (1) 「反射型ランダムウォークと幾何」
小林正弘 (東海大学)
- (2) 「ネットワークにおける確率的伝播モデルの解析と制御」
小蔵正輝 (奈良先端科学技術大学院大学)

【危機管理と防衛のOR】

・第16回

日時：2018年12月21日(金) 15:00~18:00

場所：政策研究大学院大学研究会室 4A
(東京都港区六本木7-22-1)

テーマと講師：

- (1) 「国民保護の概要」
大藏 晋 (消防庁国民保護運用室長)
- (2) 「朝鮮半島及び北東アジアの将来の地政学的シナリオ (仮)」
阿久津博康 (防衛研究所)

問合せ先：幹事 片山隆仁

E-mail: katayama@ksj.biglobe.ne.jp

● 2019年度研究部会新設および継続の申請について

研究普及委員会では、その活動の大きな柱の1つとして、研究部会・グループの設立・運営のお手伝いをしております。研究部会の設置期間は、原則として2年以内ですが、理事会の承認が得られればさらに1年延長することも可能です。部会が発足しますと財政的な補助もいたします。研究テーマは、基礎理論から実践研究までご自由にお考えいただいて結構です。

今年度活動中の研究部会・グループは以下のとおりです。詳しくは学会WEBをご覧ください。

<http://www.orsj.or.jp/activity/sig.html>

| 常設研究部会 | |
|--------|-----------------------|
| 1 | 待ち行列 |
| 2 | 数理計画 (RAMP) |
| 3 | 評価のOR |
| 4 | 意思決定法 |
| 5 | サプライチェーン戦略 |
| 研究部会 | |
| 1 | 離散アルゴリズムの応用と理論 |
| 2 | ORによる大規模インフラストラクチャー分析 |
| 3 | 確率モデルとその応用 |
| 4 | 不確実性環境下の意思決定モデリング |
| 5 | エネルギーミックスの諸問題とOR |
| 6 | オリンピック、パラリンピックとOR |
| 7 | システム信頼性 |
| 8 | データサイエンスとマーケティング分析 |
| 9 | 危機管理と防衛のOR |
| 10 | 最適化とその応用 |
| 11 | 食とその周辺 |
| 研究グループ | |
| 1 | 地域課題解決のOR |
| 2 | 数理的発想とその実践 |

申請の締切は新設・継続ともに12月7日(金)です。申請用紙は事務局までご請求ください。

● 新宿OR研究会

【第384回】

日時：2019年1月15日(火) 12:00~14:00

講師：柳内延也氏 (東海物産(株))

テーマ：「活性酸素消去食品 (仮)」

場所：OR学会事務局会議室

(千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F)

<http://www.orsj.or.jp/members/inquiry2.html>

参加費：2,000円（昼食代を含みます。事前にメールにてお申し込みください。）

詳細：<http://www.orsj.or.jp/activity/others.html>

問合せ先：日本OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

〔第385回〕

日時：2019年2月19日(火) 16:30～18:00

講師：山田修一氏（NEC ネットエスアイ(株)）

テーマ：「プロジェクトマネジメントスタイル最適化アプローチとOR理論の応用」

懇親会：18:00～20:00

会場・会費未定

その他、上記と同じ（場所は事務局）

● **公募案内**

* 詳細は、各大学のWEBおよび、OR学会WEBの「教員公募案内」をご覧ください。

・ **東京大学空間情報科学研究センター**

募集人員：准教授もしくは講師 1名

所属：東京大学空間情報科学研究センター空間情報解析研究部門

専門領域：空間情報解析

勤務内容：(1) 空間情報解析分野および関連分野の研究・教育、(2) 空間情報科学研究センターにおける運営

採用予定時期：2019年4月1日以降（決定後なるべく早い時期）

採用期間：3年間（ただし3年後の審査結果により2年延長の可能性あり）

応募資格：(1) 空間情報科学に関連する分野の博士の学位を有する方、あるいはそれと同等の研究業績を有する方、(2) 空間情報科学分野または関連分野の研究・教育経験と実績を有し、空間情報解析分野の研究・教育に熱意のある方。ただし、空間情報解析に関係する領域であれば、出身分野は問わない、(3) 日本語を母語としない場合は、研究・教育・日常業務に支障のない日本語の運用能力を有する方

給与条件：東京大学の規程による

社会保険等：法令に基づき加入する

提出書類：(1) 履歴書（東京大学統一履歴書フォーマットを以下のURLからダウンロードして使用する

ること：<https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/jobs/r01.html>）、(2) 研究業績リスト（論文、著書、国際会議などに分類し、かつ、査読付きの有無を明示すること）、(3) これまでの研究費やプロジェクトなど競争的資金の獲得状況、(4) 学内外での活動、(5) これまでの主要な研究概要、今後の研究計画（2,000～3,000字）、(6) 本人について照会可能な方2名の氏名・所属・職名・連絡先・応募者との関係、(7) 主要論文の別刷り・コピー等（5編以内）、(8) センターの活動への貢献に関する抱負（1,000～2,000字）

上記の(1)～(8)を印刷物2セット、電子ファイル1セットをお送りください。

選考方法：応募書類を選考の上、必要に応じて面接を行うことがあります。面接にあたり、必要となる旅費・滞在費等は応募者の負担となります。

応募締切：2018年12月25日(火) 当日消印有効

提出先及び問合せ先：〒277-8568 柏市柏の葉5-1-5 東京大学空間情報科学研究センター 空間情報解析研究部門公募係 宛

（封筒に「空間情報科学研究センター空間情報解析研究部門教員公募書類在中」と朱書きし、簡易書留または宅急便に送付ください。応募書類は返却致しません。）

問い合わせ E-mail: sada@csis.u-tokyo.ac.jp

その他：(1) 本センターの概要は、<http://www-new.csis.u-tokyo.ac.jp>をご覧ください、(2) <https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/research/ethics/index.html>にある科学研究行動規範の内容を読み、理解した上で応募してください。(3) 本学では、男女共同参画の推進に取り組んでいます。

● **他学協会協賛案内**

* OR学会が、共催・協賛・後援する大会やシンポジウムの情報です。参加費など、詳しくは主催学会にお問い合わせください。

・ **進化計算シンポジウム2018**

日程：2018年12月8日(土)、9日(日)

場所：暇村志賀島（福岡県福岡市）

主催：進化計算学会

WEB：<http://www.jpnssec.org/symposium201803.html>

● 新会員 (2018年10月理事会承認分)

—賛助会員A種—

SAS Institute Japan(株)
ファナック(株)

—正会員—

藤崎 正英 富士通(株)
北原 和也 mimimi (フリーランス)
河村 基 2BC(株)
西本 憲一 社会医療法人生長会府中病院 (関西支部)

小篠 耕平 八千代エンジニアリング(株)
松川 茂久 三井情報(株)
荒井 隆 滋賀大学 (中部支部)
小谷 晃央 SOMPOリスクマネジメント(株)
森田 幾太郎 新日鐵住金(株)
生田 勝也 (株)オートネットワーク技術研究所 (中部支部)

弘中 諒 (株)神戸製鋼所 (関西支部)
Perry Philwoo Choi 一橋大学ICS
鈴木 庸氏 (株)リーディングエッジ社

—学生会員—

星野 欣樹 東京理科大学
森本 奎太郎 慶應義塾大学

氏原 凜汰郎 慶應義塾大学
熊倉 卓也 新潟大学 (東北支部)
長南 侑吾 新潟大学 (東北支部)
浅野 真宏 電気通信大学
前島 萌 電気通信大学
山田 健人 防衛大学校
奥田 忠久 電気通信大学
堀江 留奈 東京電機大学
徳山 喜一 東京工業大学

* 支部表記のない方は本部所属です。

● 会員著書情報

書 名：Pythonによる問題解決シリーズ1
データ分析ライブラリーを用いた最適化モデル
の作り方
監 修：久保幹雄
著 者：齊藤 努
出 版 社：近代科学社
発 売 日：2018年12月中旬 (予定)
定 価：本体3,200円+税
I S B N：978-4-7649-0580-1

2018年度第3回 ORセミナー

「因子分析とその発展—無形概念の測定から概念間の関係性分析まで—」

開催趣旨：回帰分析が観測変数間の構造解明を前提にするのに対して、因子分析は、観測変数の背後で観測変数に影響を与えている変数を想定した潜在構造の解明を目指しています。因子分析は、20世紀初頭のSpearmanの論文により、無形概念である一般知能因子の測定を可能とするモデルとして提案され、計量心理学を生誕させる原動力となりました。セミナーの前半では、因子分析を他の代表的な統計的方法と比較したり、因子分析自体のバリエーションを紹介したりすることで、その適用範囲や使い方を示します。セミナーの後半では、因子分析と構造分析とを結合した、適用範囲が因子分析に比べて大きくなる共分散構造分析（線形潜在構造分析）についても、その考え方と使い方を紹介します。

日時：2019年1月12日（土）10:15～17:45

会場：筑波大学東京キャンパス文京校舎 134講義室

東京都文京区大塚3-29-1（東京メトロ丸の内線茗荷谷駅下車「出口1」徒歩5分程度）

http://www.tsukuba.ac.jp/access/bunkyo_access.html

コーディネータ：黒木裕介（元 研究普及委員）

プログラム

10:15～10:20 開会挨拶 黒木裕介

(1)「因子分析の考え方と実践」 榎 広計氏（独立行政法人統計センター 理事長）

10:20～11:15 「多変量相関構造の要約：回帰分析，因子分析，主成分分析」

11:25～12:20 「グラフィカルモデリングと因子モデリング」

13:20～14:15 「探索的因子分析と検証的因子分析」

14:25～15:20 「データ解析としての実装」

(2)「因子分析の発展：共分散構造モデリング」 小島隆矢氏（早稲田大学人間科学学術院 教授）

15:35～16:30 「因子を用いた共分散構造モデルのご利益」

16:40～17:35 「因子を用いた因果モデリングの実際」

17:35～17:45 閉会挨拶，アンケート記入

参加費（テキスト代込）：正・賛助会員（協賛学会員を含む）5,000円，学生会員1,000円，学生非会員1,500円，非会員20,000円。

※当日欠席された場合、参加費の返金はありません。後日テキストを郵送します。

ORセミナー参加者特典：一般、学生を問わず会員でない方は、入会金無料で入会でき（正会員／学生会員となる）、2018年度・2019年度の年会費は免除されます。ご希望の方は、参加申込メールに「ORセミナー参加者特典」利用による入会希望とお書き添えいただくとともに、OR学会WEBの入会申込のページより入会手続きをしてください。（入会申込：<http://www.orsj.or.jp/whatisor/admission.html>）

申込先：日本OR学会事務局 E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

お名前（ふりがな）、ご所属先、正会員／学生会員／賛助会員／協賛学会員／非会員／学生非会員、お支払予定日を記入してメールにてお申し込みください。

申込・振込み締切：2018年12月25日（火）

振込先：みずほ銀行 根津支店（店番号235）普通1530801 公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会
協賛学会（正会員と参加費同額）：日本経営工学会（JIMA）、日本品質管理学会（JSQC）、日本信頼性学会（REAJ）、研究・イノベーション学会（JSRPIM）、日本設備管理学会（SOPE-J）、経営情報学会（JASMIN）、プロジェクトマネジメント学会（SPM）

詳細は、OR学会WEBページ <http://www.orsj.or.jp/activity/seminar.html> をご覧ください。

2019年度年会費納入のお願い

2019年度（2019年3月1日～2020年2月29日）年会費の請求書を11月に発送しました。このうちよの支払取扱票は、2019年1月以降もご使用可能です。

大学または、会社宛の請求書が必要な場合は、以下をメールにて事務局にお知らせください（会員氏名、請求金額、請求書宛名（個人名/法人名/法人名+個人名）請求書の日付指定の有無、様式の指定…請求書/見積書/納品書、指定用紙など）。

OR学会の事業年度は3月～翌年2月までです。

年会費専用振込み口座

| | |
|-------|--|
| みずほ銀行 | 根津支店（店番号235）普通1124744 口座名：公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会 シヤ）ニホンオペレーションズリサーチ ガクカイ |
|-------|--|

| | |
|--------|--|
| 郵便振替口座 | 00190-6-79492 口座名：公社）日本オペレーションズリサーチ学会 |
|--------|--|

| | |
|--------|---|
| ゆうちょ銀行 | 〇一九（ゼロイチキユウ）（店番号019） 当座 0079492 口座名：公社）日本オペレーションズリサーチ学会 |
|--------|---|

年会費（不課税） 正会員 14,400円
学生会員 5,000円
シニア会員 7,200円
*手数料は払込人様ご負担でお願いします。
*お名前はフルネームでお書きください。
*所属機関からお支払の場合は、対象の個人会員名と所属機関を事務局にお知らせください。

シニア会員について

正会員のうち、20年以上正会員を継続し、会費を完納している60歳以上であり、定常収入を有しない方は、理事会の承認によりシニア会員になることができます。申請/承認後、翌年度よりシニア会員となります。シニア会員の会費は7,200円です。

特別会員について

正会員のうち、身体障害者手帳をお持ちの方は、その手帳の写しを事務局に提示していただくことにより、特別会員として年会費半額の免除制度があります。申請/承認後、翌年度より特別会員となります。特別会員の会費は7,200円です。

学会事務局年末年始休業のお知らせ

2018年12月31日（月）～2019年1月4日（金）

年会費の口座振替（正会員）

年会費自動振替の方は2019年1月22日に「2019年度年会費」を引き落とし予定です。口座振替の中止や振替口座変更をご希望の場合は、11月末日までに事務局にメールでお知らせください。

2019年3月ご卒業の学生会員の方へ

- 1) ご就職により正会員として会員継続希望の方へ**
新所属先（郵便番号、住所、所属機関、所属部署、電話番号、メールアドレス）、新自宅住所、連絡先メールアドレス（所属先/自宅）および、OR誌送付先（所属先/自宅）を事務局にお知らせください。
2019年度の会費はそのままです。2019年11月に2020年度正会員年会費14,400円の請求書を発送いたします。
- 2) 退会希望の方へ**
退会理由（卒業、大学院修了等）を書いて、退会届のメールを事務局に送ってください。

学生会員年会費無料化キャンペーン

- OR学会では学会活性化の一環として、2013年度から開始した「学生会員年会費無料化キャンペーン」を継続中です。
- 1) 学生新入会希望で、かつ指導教員が正会員の方は、学生会員年会費5,000円は無料となり、入会金600円でご入会できます。
 - ①WEBからの入会申込み
 - ②入会金600円のお振込み
 - ③指導教員様からの応募メール（「指導教員様のお名前、ご所属、学生の方のお名前、ご所属、メールアドレス」）
- 以上3点をもって、無料化受付が完了します。
- 2) 学生新入会希望で、指導教員様が非会員の場合は、「学生会員年会費無料化キャンペーン対象外」となり、通常の年会費5,000円が必要となりますので、ご注意ください。

OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp
〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5
サン・チカビル7F
TEL: 03-3851-6100, FAX: 03-3851-6055
*各種お届けは、メールにてご連絡ください。
（住所/所属先/メールアドレス/ OR誌送付先等の変更、退会届）
会員氏名と新旧の変更内容をお書きください。